



その子“らしさ”を 大切にするために

アンコンシャス・バイアス

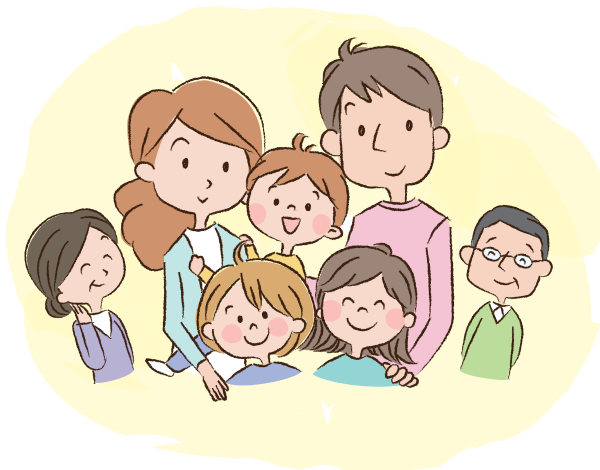
ってなに？

はじめに



子どもたちが大きくなるにつれて、保育園や幼稚園に通い始めるなど、家族以外にも多くの人とのかかわりが増えることで、自分たちの世界が大きく広がっていきます。多くのお友達や大人との出会いは、自分とは異なるさまざまな価値観との出会いでもあります。子どもたちの中には、「私とあの子は好きなものが違うな」「みんなと違うとおかしいのかな」と、不安になることがあるかもしれません。

子どもたちがそうした不安を抱えた時、周りの大人はどのように接したらよいのでしょうか？ 子どもたちが個性や可能性、多様な考え方を育むことを妨げてしまうことがないように、子どもたちと一緒に考えてみませんか？



あなたは どう答える？

ピンクは 女の子の色!?



ほら、アンちゃん
服を着替えよう!



えー
また
ピンク?!



いつもピンクの
服ばかりして
ストライプ服



えー!
どうして?
女の子
だから
ピンク
かわいいよ



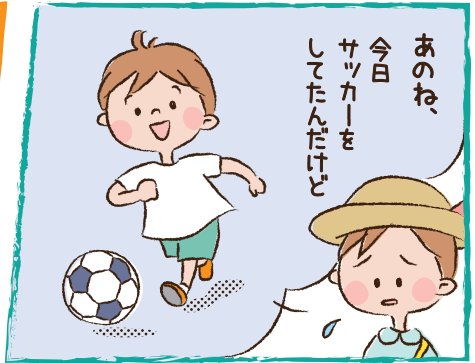
アンちゃん
本当は
緑や青が
好きなのよ...

どうして
「女の子だから **ピンク**」
なの?



あなたは どう答える？

男の子は 泣いちゃダメ!?

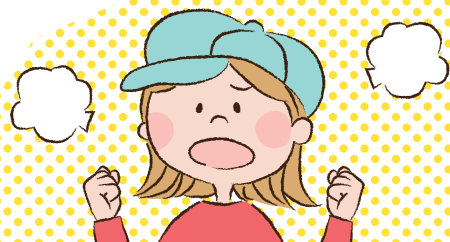


あなたは どう答える？

女の子が パイロットになるのは 難しいの!?



どうして
「女の子がパイロットに
なるのは難しい」の？



アンコンシャス・バイアスは、 無意識の偏見や思い込み

アンコンシャス・バイアスは、これまでの経験や育った環境から、自分では気づかないうちに抱いている偏見や思い込みのことをいいます。これは誰もが持っているもので、あること自体は悪いことではありません。しかし、アンコンシャス・バイアスに気づかないでいると、知らず知らずのうちに相手を傷つけてしまったり、自分や相手の可能性を狭めてしまう場合があります。まずは、アンコンシャス・バイアスそのものを知ること、気づくことが大切です。



さまざまなアンコンシャス・バイアスがあります

女らしさ・男らしさではなく “自分らしさ” “あなたらしさ”を大切に

社会の中でつくられた「女らしさ」や「男らしさ」のイメージをジェンダーといい、アンコンシャス・バイアスの中でも「女性はこうあるべき」「男性はこうあるべき」という偏見や思い込みを「ジェンダー・バイアス」といいます。しかし近年、1人ひとりの顔や性格、価値観が違いうように、性別も2つに分けられるほど単純ではないということが分かってきました。大切なのは、性別などの固定観念にとらわれず、1人ひとりの思いを尊重すること。ありのままを受け入れて、その子が持つ自分らしさを育みましょう。

アンコンシャス・バイアスで
子どもを傷つけないために





岐阜市 市民協働推進部 男女共生・生涯学習推進課

〒500-8701 岐阜市司町40番地1 TEL.058-214-4792

監修／朝日大学 法学部法学科 大野正博教授 制作／NPO法人 未来へのみち

発行／令和5年7月